

第6回

交通運輸技術フォーラム

～ドローンが拓くDXの未来～

日時

令和4年 3月 31日 (木) 13:30～16:15

会場

オンラインフォーラム (zoomウェビナー)

参加費

無料

定員

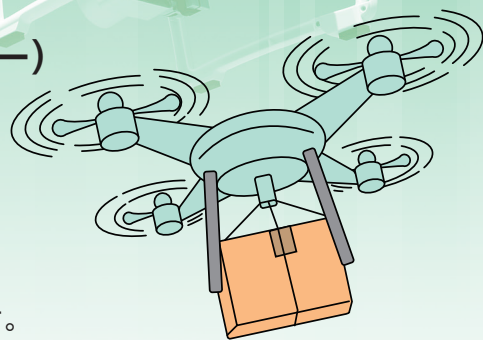
オンライン登録500名 (先着順)

事前申込み受付中 (3月29日 (火) 12時まで)

※定員に達した時点で申込みを締め切らせていただきます。

主催/協力

主催:  国土交通省 協力: 内閣官房小型無人機等対策推進室



プログラム

13:30～

開 会 開会の挨拶

国土交通省 大臣官房技術総括審議官 高田 昌行

第一部 基調講演

13:40～

・ドローンの各国法制度の動向と将来像

講演者: 東京大学 名誉教授 / 未来ビジョン研究センター 特任教授 鈴木 真二 氏

14:20～

・世界と日本のドローン産業動向

講演者: 千葉大学 名誉教授 / 日本ドローンコンソーシアム 会長 野波 健蔵 氏

休憩 (10分)

第二部 行政の取組について

15:10～

・レベル4の実現、さらにその先へ

講演者: 内閣官房小型無人機等対策推進室内閣参事官 小熊 弘明

15:40～

・ドローンの早期実装に向けた国土交通省の取組

講演者: 国土交通省総合政策局技術政策課長 伊藤 真澄

16:10～

閉 会

参加申込方法

下記E-mailアドレスにお名前、ご所属(会社名)、緊急連絡先(TEL)、参加者のお名前をお送りください。 ※1つのお申込みで複数名のご参加はご遠慮ください。

E-mail:koutsu-forum@eforest.jp



お問合せ先

国土交通省総合政策局技術政策課 交通運輸技術フォーラム担当
TEL:03-5253-8111 (内線:25634)

第6回 交通運輸技術フォーラム ～ドローンが拓くDXの未来～

第一部 基調講演 (各40分)

13:40～15:00

ドローンの各国法制度の動向と将来像

ドローン技術は社会を大きく変革する可能性を秘めており、その利活用のニーズがますます高まっているところ、ドローンのレベル4飛行実現に向けた制度整備、利活用推進に向けた技術開発、多様な分野における社会実装の促進に向けた取組の現状及び今後の展望などを紹介する。



講演者: 東京大学 名誉教授/未来ビジョン研究センター 特任教授 **鈴木 真二** 氏

◆ profile ◆

1979年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。(株)豊田中央研究所を経て、1986年 東京大学工学部助教授。1996年より工学系研究科航空宇宙工学専攻教授。2019年より現職。工学博士。日本航空宇宙学会会長(第43期)、日本機械学会副会長(第95期)、国際航空科学連盟会長(2019-20)、日本UAS産業振興協議会理事長、など。主な著作:『落ちない飛行機への挑戦—航空機事故ゼロの未来へ』(化学同人)、『飛行機物語—航空技術の歴史』(ちくま学芸文庫)、『現代航空論—技術から産業・政策まで』(共編、東京大学出版会)。

世界と日本のドローン産業動向

ドローンは一時的過度の期待や失望感から脱却して、堅実な安定成長期に入っている。
本講演では、世界と日本のドローンビジネスや技術動向を紹介し、課題についてもフォーカスする。



講演者: 千葉大学 名誉教授/日本ドローンコンソーシアム 会長 **野波 健蔵** 氏

◆ profile ◆

1979年 東京都立大学大学院博士課程修了、1985年 NASA研究員・シニア研究員、1988年 千葉大学助教授、1994年 千葉大学教授、2008年 千葉大学理事・副学長、2012年 ミニサーバイヤーコンソーシアム(現日本ドローンコンソーシアム)を設立し会長、2013年 大学発ベンチャー(株)自律制御システム研究所(現(株)ACSL)を創業し代表取締役CEO、2019年(一財)先端ロボティクス財団を設立し、理事長。
ドローンの著書:『Autonomous Flying Robots』(Springer)、『ドローン工学入門』(コロナ社)、『ドローン産業応用のすべて』、『続・ドローン産業応用のすべて』(共にオーム社)、『日本ドローン年鑑2021』(日刊工業新聞社)。

第二部 行政の取組について (各30分)

15:10～16:10

レベル4の実現、さらにその先へ

ドローンは社会を大きく変革する可能性を秘めており、利活用のニーズがますます高まっているところ、ドローンのレベル4飛行(有人地帯の目視外飛行)実現に向けた制度整備、様々な技術開発、社会実装に向けた取組の現状及び今後の展望などを紹介する。



講演者: 内閣官房小型無人機等対策推進室内閣参事官 **小熊 弘明**

◆ profile ◆

1997年 運輸省入省、2006年 航空局飛行場部成田国際空港課課長補佐、2009年 外務省在スペイン日本国大使館一等書記官、2012年 自動車局旅客課地域交通政策企画調整官、2014年 大臣官房総務課企画官(自動車局併任)、2015年 海上保安庁総務部政務課企画官、2016年 大臣官房会計課企画官、2018年 総合政策局公共交通政策部参事官(総合交通担当)、2019年 観光庁参事官(観光人材政策)、2020年 航空局安全部安全企画課長を経て、2021年7月より現職。

ドローンの早期実装に向けた国土交通省の取組

国土交通省では、災害復旧・復興支援、被災者の救援・救助、平時での施設点検や地形測量、気象観測等の行政ニーズに適切に対応するため、直轄現場等を実証フィールドとして活用しつつ、業務執行上必要となるドローンの早期実装を図るなどして、安全かつ迅速な災害対応、平時における生産性の向上等を目指して、行政ニーズに対応した汎用性の高いドローンの利活用等に係る技術的検討を進めている。本セッションではその概要を紹介する。



講演者: 国土交通省総合政策局技術政策課長 **伊藤 真澄**

◆ profile ◆

1990年 運輸省(現国土交通省)入省。主に海運・造船行政に従事。科学技術庁(現文部科学省)、海上保安庁等への出向を経て、2015年 海事局検査測度課危険物輸送対策室長、2020年 総合政策局情報政策課サイバーセキュリティ対策室長。2021年4月から現職。